

すてっぴ

2月号

発行／大野城まどかぴあ 男女平等推進センター

編集／男女平等推進センター情報サポーター

第17回大野城男女共生フォーラム

<テーマ>可能性を信じていきいき未来へ
～ともに輝く男女共生社会～

<実施日> 3月2日(土) 13:30～15:30

講演&トーク:「伊達家の鬼夫婦」(神田紅さん)



<参加料> 500円

※チケットは男女平等推進センターで販売しています。

※他に「男女共同参画」小中学生図画ポスター・標語コンクール表彰式
やワークショップ等も実施します。詳しくはチラシをご覧ください。



神田 紅さん

日時・会場	講座・イベント	講師・料金
<p>前期 4/4～5/30 中期 8/29～11/7 後期 1/9～3/27 (全30回・木曜日)</p> <p>多目的ホール(1階)</p> <p>昼の部 13:30～15:00 夜の部 19:00～20:30</p>	<p>ヘルシーエクササイズ講座</p> <p>毎年大好評のロングラン講座が、リニューアルしました。ほぼ1年をとおしての3期講座となりました。年齢や経験に関係なく、自分のペースで出来るエクササイズです。お友達や家族を誘って参加しませんか? “めざせ! 心身健康ボディ”</p> <p>※申込期間 2/4(月)～3/5(火)</p> <p>※各期や組み合わせでも申し込みができます</p> <p>※詳しくは、チラシをご覧ください</p>	<p>講師: 昼の部 藤 像救子さん  船越 光子さん 夜の部 土井 孝子さん</p> <p>対象: 一般女性(20才以上)</p> <p>定員: 70名(昼・夜の部とも)</p> <p>受講料: 前期のみ 2,160円 中期のみ 2,640円 後期のみ 2,400円 全期 7,000円(お得です!)</p> <p>※ソフトジム代金 1,000円(もっていない人のみ)</p> <p>託児: 昼の部のみ(1回1人600円)</p>
<p>5/13(月) ～7/10(水)</p> <p>パソコン実習 26回 再就職講話 1回</p> <p>視聴覚室(2階)</p> <p>9:30～12:00 (第2回より9:00からの 30分自習時間あり)</p>	<p>あなたのチャレンジ応援します! 再就職のためのパソコン講座 ～日商PC検定(文書作成)3級～</p> <p>結婚・育児などの理由で退職し、再就職を目指す方のために日商PC検定(文書作成)3級資格取得対策講座を行います。履歴書にける資格を取得しましょう! 今年の再就職講話はパーソナルカラーのお話です。自分の色を知ってもう1歩ランクアップしましょう。</p> <p>※申込期間 2/15(金)～4/15(月)</p>	<p>講師: パソコン実習 竹中 ひとみさん 再就職講話 藤末 淑美さん</p> <p>対象: 結婚・育児などを理由に退職し再就職を目指す方</p> <p>定員: 20名 </p> <p>受講料: 12,000円(テキスト代含む)</p> <p>※大野城市内在住・在勤で生活保護等の受給者対象に受講料減額制度あり。 詳細はお問い合わせください。</p>

★講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは⇒男女平等推進センターへ★

〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号 TEL (092) 586-4030 FAX (092) 586-4031

ホームページ <http://www.madokapia.or.jp/>

開館日時/月曜日～金曜日 9時～19時 第2・4土曜日 9時～17時
閉館日/第1・3水曜日、第1・3・5土曜日、日曜日・祝日、年末年始

※右のマークのある講座・公演は託児が利用できます。

開催日の1週間前までにお申し込みください。・1人1回600円

託児
マーク♪



・満1歳～小学校就学前まで

平成 24 年度大野城まどかぴあ
男女平等推進センター市民グループ活動支援事業

「つながって楽しい！ 出会って深めよう！
～ネットワークから始まる男女共生のまちづくり～」

日にち：12月15日（土）
講師：加留部 貴行さん
（NPO 日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員長）
主催：女性ネットワーク大野城

「共働」は「ストーリーづくり」から

例えば、あなたが玄関の扉を開けると、見知らぬ人がいきなり手を差し出す。

「大野城市のよりよい未来のために一緒に活動しましょう！」

どれほど素晴らしいお題目であれ、その手をとる者はそうはいないだろう。（市の PR キャラクター大野ジョー）だったら、断る前に握手くらいはしてしまうかもしれないが・・・）なぜならそこに至る過程がずいぶん飛んでいるからだ。まず自己紹介から始まり、どんな考えを持ち、それに共感で



加留部さんの
熱い思いがあふれます！

きるか。それらを経て初めて、一緒に行動する次の段階に移ることができる。さまざまなコミュニティ活動においても同じことが言える。知り合い、共感する過程があっ

て初めて、同じ課題や目的に向かって動き出せる。この段階にしっかり時間をとらないと一緒に活動すること（共働）はできない。

かつては、冠婚葬祭や日常の困り事や課題は、内々の住民同士でお互い助け合って解決した。どうしても解決できないものだけ行政が対処していたのが、次第に行政任せになっていった。日常的に内々でやりくりできていたものが外注化されることで、住民同士のつながりも薄れ、内の賑わいがなくなっていく。課題は多様化し行政の対応が追い付かない。それを見かねて出てきたのが民間ボランティアや NPO やコミュニティ活動だ。行政

以外からの課題解決のアプローチは住民同士の薄れた関係を結びなおす作業でもある。また行政とボランティア・NPO は、共通の課題や目的を持ち、一緒に活動する「共働」の関係ができる。



メモを取る手にも
熱がこもります

共働へのチャレンジ事例として、加留部氏は福岡市内で行った例をあげられた。

曰く、「大学生が多い地域で、彼らをいかに地域活動に誘うか」……氏が行ったのはテーマと当事者たちが「語る場」の提供だけだった。大学生と地域の方たちは最初は遠慮がちに互いを探りあいながらやりとりしていたのが、集まりが終わるころには、談笑しつつ「もっと語りたい」という声が多々あったそうだ。

人との交流は掛け算

相手を知らないことからくる誤解や思い込みの解消には、共通の課題について対話をする場を設けることが必要だ。対話は「話す」ことに主眼を置きがちだが、実は「聴く」ことが大事だ。「聴く」という字には元々「許す」という意味があるという。家庭、会社、そして地域において「聴きあう」「許しあう」対話があるか。相手の話をきかず、自分が言いたいことばかり言っていないか。昨今は他人には無関心で、誰かがするだろうと他人事（ひとごと）になりがちだが、この無関心が共働には最大の敵だ。「限界集落」は過疎の田舎だけのことではなく、都市にもありうる。無関心など、人とのつながりが切れたところは、家庭であれ職場であれ限界集落といえる。余所で起きていることはうちでも起きうるし、その逆もあるという相似形は多々見られる。どんな事であれ、他人事と思わず当事者としての意識を持つことが大事で未来を拓く新たな地域の「つながり」となるだろう。

（情報サポーター 宮本由美香）

大野城市市制 40 周年記念

あなたとわたしのハートフルステージ

谷川俊太郎と石川セリの世界

～詩と音楽の贈り物～

日にち：12月22日（土）

♡陽水降臨の サプライズ♡

♪芸のためなら女房も泣かすう～ 市井であくせく働く凡人にはどこか破天荒なイメージが付きまとう芸能や芸術。詩と音楽のコラボと聞いて、私にとっての「芸」を自問してみました。嫌いじゃないが、自身ではのめりこめない分野か？ そこでその道の大家が編み出す夢の舞台に接して、暫しのほろ酔い気分から元気をもらおうといったところででしょうか。が、その日はそんな序章が覆りました。標題の詩人の谷川俊太郎氏・歌手の石川セリさんに加えて、俊太郎氏の長男で作曲家兼ピアニスト・谷川賢作氏も、ドラムを担当した音楽家・浜口茂外也氏（浜口庫之助氏のご子息だそうです）の誰をとっても一般人と何ら変わることなく、地道に活動を重ねる“職人”でした。

俊太郎氏は先日 81 歳になったばかりとか。賢作氏のピアノ演奏をバックに自作の詩を張りのある声で朗読して、親子ならではの息はぴったり！こんなコンサートが、もう何年も前から各地で開催されているようです。この度、後れを取らずに大野城で実現したのは幸運でした。賢作氏が娘さんから結婚を告げられて、うろたえながらも想いをこめて作曲した、組曲

「家族の肖像」。それはとても優しいメロディ、花嫁の父を共感しました。セリさんは、デビュー41周年だそうです。

お二人の間合いは絶妙！

「わたし、赤になりました」と、目の覚めるような真紅のドレスを身にまとい、そのあでやかさと美し

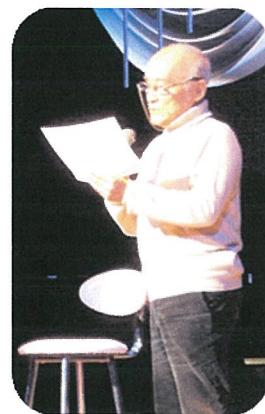
さにはうっとり。ささやくような歌い方が数曲続いた後、「サブタイトルは家族の肖像」と断った上でスペシャルゲストを招き入れました。なんと！彼女の夫、井上陽水さんの登場で会場はどよめきました。ギターを抱えて、セリさんのために作った「ダンスはうまく踊れない」を二人でデュエット。



その後に合流した専属コーラスは長女サラサさんと次女アンナさん。他に裏方で長男が支えている由。エンディングにはお孫さんも…で、井上家総出のご披露ステージとなりました。どこにでもいる、なんとも暖かな家族は師走の喧騒を超越していました。

共通の友人である故武満徹氏（現代音楽の分野において世界的にその名を知られ、日本を代表する作曲家）については触れずにいられなかったのでしょうか。谷川氏とは同年代で、若い時分から芸術に関わる同志として親しく、「男なら 007 のようできゃ…」などと憧れを語り合ったエピソードも披露されました。1995 年発表の「翼 武満徹ポップスソング」に収録の「小さな空」を歌いながら、セリさんは涙ぐんでいました。亡くなって 16 年も経つのに、濃厚で質の高い絆は全く色褪せないのですね。

最後に、郷土の井上陽水さんはなんと美しく素敵の方を探してきたことか……と太鼓判をボーン。



（情報サポーター 山口郁子）

○一緒に楽しくやりましょう！ 25年度ボランティア実行委員大募集○

興味のある方はお気軽にお問い合わせください。新しい出会いや発見がきっとあなたを待っています。

★男女平等推進センターフェスティバル実行委員★

第1回実行委員会 3月15日(金)

★大野城市男女共生講座実行委員★

第1回実行委員会 3月25日(月)

※両委員会とも 13:30 より

アクティブルーム(3階)で行います。

～お申込み・お問い合わせは男女平等推進センターまで：TEL092(586)4030～



2月の男女平等推進センター

日	曜	予 定
1	金	親子のためのブックタイム①
2	土	センター閉館日 女性リーダー養成講座①
3	日	センター閉館日
4	月	
5	火	啓発サポーター一定例会
6	水	休館日 託児サポーター館外研修
7	木	
8	金	
9	土	女性リーダー養成講座② 市民グループ活動支援事業
10	日	センター閉館日
11	月	センター閉館日
12	火	ママネット定例会 事業サポーター一定例会
13	水	
14	木	
15	金	親子のためのブックタイム②
16	土	センター閉館日 市民グループ活動支援事業
17	日	センター閉館日
18	月	
19	火	
20	水	休館日
21	木	
22	金	第17回大野城市男女共生フォーラム 「男女共同参画」小中学生ポスター・標語展(～3/4)
23	土	女性リーダー養成講座③④
24	日	センター閉館日
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	

「すてっぷ」のバックナンバーがHPでご覧いただけます。

まどかぴあHP

⇒男女平等推進センター ⇒すてっぷ

お問い合わせは、

☎586-4030(男女平等推進センター)



相談のご予約・お問合せは…

☎092-586-4035へ

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内☆

相談は無料です。まずはお電話してください。

■総合相談・・・月曜～金曜 9時～17時

※土・日・祝日と休館日はお休みです。

面接相談(要予約)と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談・・・火曜・木曜 月4回

面接、電話相談。予約してください。

生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。臨床心理士が相談を受けます。

<今月の相談日程>

2月7日・21日・28日(木)、5日(火)

■法律相談・・・毎月第1～4木曜日 13時～16時

面接相談のみ。予約してください。

弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談・・・毎月第2水曜日 10時～12時

面接相談のみ。予約してください。

福岡県福岡労働者支援事務所の労働相談員、就業アドバイザーが相談を受けます。

ひとりごと まだお正月気分が7日、電車での風景。4、5才くらいの女の子と母親、祖母が向かいの席で談笑していた。「できるだけ多くの方が座れるように…」のアナウンス。女の子の「いやだ」という声に目を向けると、母親が優しくもきっぱりと膝に座らないなら立つように言っている。「子どもは一番元気があるから、足の悪い人や病気の人、お腹に赤ちゃんがいる人に座ってもらわない」と女の子を膝に抱いた。女の子のやや不満げな「どうして、お腹に赤ちゃんがいる人が座ると」の問いに「しんどいとよ」と実感がこもった返事。ちょっと間が空いて、納得顔の女の子は「赤ちゃんがおったら重たいもんね」と言って、膝からおろして母親と祖母に寄りかかった。母親は、その女の子の頭を優しく、愛おしそうに本当に愛おしそうに撫で、「子どもは元気がいっぱいあるからね」ともう一度嬉しそうに言った。不思議なくらい心がやすらいで、3人から目が離せなかった。なぜだろう…？それはずっと娘を優しく見守る「まなざし」だと気付いた。メールをすることもなく……。ほんの15分程の事だったが、この母親が何よりも子どもを慈しみ愛しんで育児を喜びとしていると感じた。はからずも女の子のピンクのスカートが、桜の花びらのように見えた。

私の心に春が来た。(情報サポーター ちびま)